

まごころだより

2021年 1月号

新年あけましておめでとうございます。昨年あまり良くない一年でしたが、そう落込んではいられません。いつもと違うからこそ新しい発想で前向きに進んで行かなければならないと思います。海外では個人の自由を主張したり、経済が回らなければ生活が成り立たないなどの理由で、抑え込みの道筋すら見えていません。確かに仕事を失えば、生活を維持することが困難になります。国の力や考えはそれぞれ違いますが、ウイルスはそんな



なことにかまってはくれません。全世界がどうしたらいいのか分からなくなっているのでしょうか。医療関係の人達はできる限りの事を我が身を投じて治療にあたってくれています。その方々に対して、誹謗、中傷、差別をすることは一体何を考えているのでしょうか。もし自分が感染したらと思ったことがないのでしょうか。感情の捌け口としてぶつけているのでしょうか。医者は直してくれるのが当たり前だと思っているようでは収束は望めないと思います。多くの人は感染予防のために用心をしていると思います。しかしウイルスは隙をついて広げたり、入り込んだりするのでしょうか。用心には用心を重ねて行動すべきだと思います。



私共の施設では、昨年のウイルス感染症拡大予防の啓発が出されて以来、毎日、ピリピリしながら対応してきました。密を避けるため一所の人数を調整したり、換気をしたり、マスクを迎合したり、人が触れたテーブルや椅子、手すり、ドアノブ等必ず消毒を行ってきました。今では当たり前のように行っていますが、利用されている方は頓着がありません。それがとても辛いところです。

理解を求めてもマスクの着用は持続できず、会話するにも

耳が遠くて聞こえにくいので、つい大きな声になってしまいます。誰かが歌を口ずさむと一緒にうたいだしたりと、もう止めようがありません。そもそもデイサービスでは、人とのコミュニケーションをはかるところです。歌も歌えば、おかしい時は大声で笑いもする。それを止めることはできません。後は私達職員が良い環境を維持すればいいのです。

この先もまだまだコロナは収束を見せないと覚悟して、拡大防止心を掛けて取り組んで行かなければなりません。利用者が帰宅されてからの心配もありますが、まず私共職員が常に感染しないように気を配らなければならないと思っています。

振り返れば一年近くコロナの事ばかり言うてきましたが、今年はそれとは違うまごころだよりをお届けしたいと思います。これからもより一層努力してまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。





始めてチェロの生音を聞きました



素晴らしい音色でした



自作の衣装で・・・やってみたかったの



とても美味しかったです